記者発表資料

平成２７年６月１０日
東 北 技 術 事 務 所

体験型実習施設、利用者5,000人を突破
～実物大の臨場感で体験可能！～

東北技術事務所では、工事監督・検査に対応する技術や維持管理における点検技術の習得、施工手順及び品質の良否判定などの基礎技術や判断技術を習得することを目的とした実践的な施設として、「体験型土木構造物実習施設」を設置し、平成２０年度より運営しております。

実物大の構造物の実習施設としては東北地方唯一のもので、行政機関や民間企業、学校関係者など毎年およそ５００人～８００人の方々に利用いただいており、この度利用者数の累計が５，０００人を突破しました。

アンケートの結果、「大変役に立った（59%）、役に立った（36%）など」”好評”との感想を多数いただいております。

なお、利用にあたっては事前に申込みが必要となりますので、詳細については東北技術事務所のホームページをご覧下さい。

http://www.thr.mlit.go.jp/tougi/gijutsuryoku/jinzai/taikengata.html
問合せ先：東北技術事務所　施工調査・技術活用課　℡０２２－３６５－８０４７

◆体験型土木構造物実習施設は、コンクリートの施工不良箇所の再現や施工手順など、「見て･触れて･考える」をコンセプトに橋梁下部工、函渠工、防護柵工等の実体験型の施設を平成１９年度末に事務所構内に設置しました。
内部職員はもとより、公共事業に携わる外部技術者の技術力向上を目指して平成２０年度より運営しています。現在では橋梁上部工モデル等を追加整備し、１３種類の実物大モデルで運営しています。





橋梁下部工における実習状況（左）と劣化した鉄筋コンクリート床版における実習状況（右）

問い合わせ先

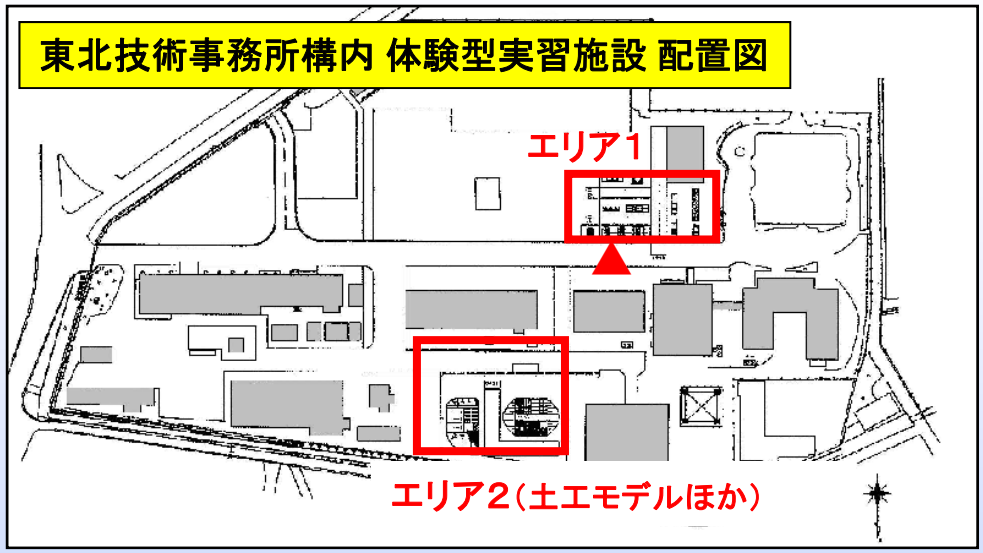
国土交通省　東北地方整備局　東北技術事務所

多賀城市桜木三丁目6-1　Tel 022-365-8211（大代表）

総括技術情報管理官　松舘（まつだて）　豊久（とよひさ）（内線３０１）

体験型土木構造物実習施設

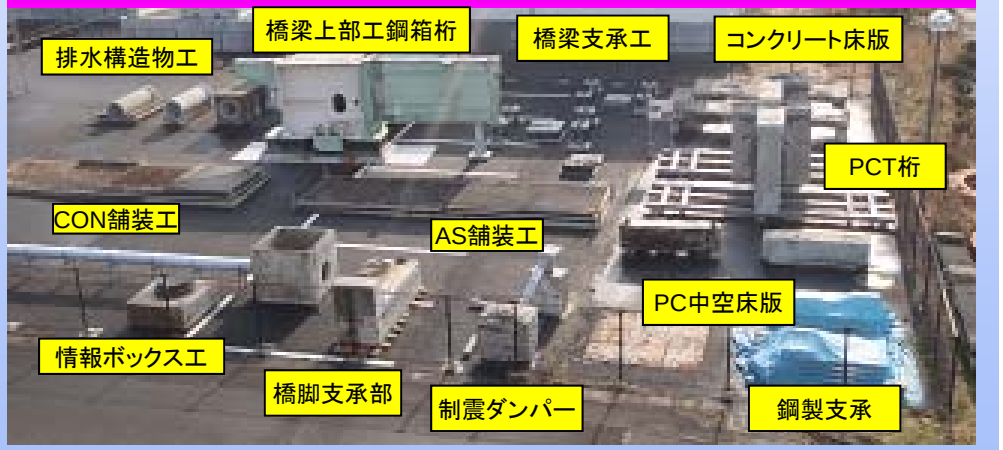
この実習施設は「見て・触って・考えてもらう」ことで**工事監督・検査における対応技術の向上**や施工手順、品質の良否判定などの**基礎技術や判断技術を習得**することを目的としています。



エリア　1　（コンクリートモデルほか）



エリア　1　（橋梁上部工モデルほか）



★コンクリートモデルの構造物では、コンクリートの施工不良箇所を故意に再現しています。その不具合の原因と対策等について考えます。

利用のお申し込みは、東北技術事務所　施工調査・技術活用課　まで

体験型土木構造物実習施設利用者数の推移

